

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◇科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 39 時間)

担当教員 : 川内谷一志, 詫摩英明 (全クラス担当)

授業の概要			
スポーツテスト (運動能力テスト, 体力診断テスト) を実施して, 個人の体力を把握させる。 実技種目では, 積極的, 意欲的な参加と活発的な活動を目指す。スポーツの実践を通じて, 責任感を持ち, 協調性のある行動がとれるようにする。スポーツマンシップについても十分な理解を促す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (A1) (B1), JABEE 目標 (a) (c)	
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1, 2	1. 陸上競技	○3 年時に学習した走高跳を行い, 個々の記録測定を行う。	【理解の度合い】
3, 4	2. スポーツテスト	○ {運動能力テスト (4 種目), 体力診断テスト (4 種目)} を正確に測定する。	
5-7	3. バレーボール	○3 年時よりさらに個人技能を生かしたゲームを展開し, 審判法を習得する。	
8-11	4-1. ソフトボール・軟式野球 (男子) 4-2. ソフトテニス (女子)	○試合に重点を置いて指導する。交代で試合結果表 (スコア表) を記入する。 ○ダブルスのゲームを学習する。	
12, 13	5. 水泳	○クロール, 平泳ぎ, 横泳ぎ, 背泳ぎを習得する。	
14-16	6-1. 軟式野球 (男子) 6-2. 硬式テニス (女子)	○個人の技能を向上させ, 試合が楽しくできるようにする。試合結果表 (スコア表) を記録する。 ○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する。	【理解の度合い】
17-20	7-1. サッカー (男子) 7-2. 卓球 (女子)	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法の習得する。 ○個人技能の習得後, ダブルスのゲームを学習する。	
21-23	8. バasketボール	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する。	
24-26	9. バドミントン	○男女共通の種目として行い, 個人技能を向上させ, ダブルスのゲームを学習する。	
履修上の注意	授業は, 原則として学校指定の体操服・運動靴・体育館シューズで行う。		【総合達成度】
教科書	高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館書店。		
参考図書	秋山兼範, 麻生紘二ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館書店。		
自学上の注意	授業で行うスポーツのルールを調べておく。		
関連科目	保健・体育 (3年, 5年)		
総合評価	達成目標の(1)と(2)について実技で評価する。 総合評価=授業で行った各種目の実技点の平均 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。 総合評価 60 点以上を合格とする。再試験は, 実施しない。		【総合評価】 点